

会員の声

日本循環器病予防セミナーに参加して

饗庭 玲子

(滋賀医科大学大学院医学系研究科修士課程)

第35回日本循環器病予防セミナーは、国立循環器病研究センターの宮本恵宏先生を実行委員長とし、7月29日、8月5・6日の3日間はオンラインで行われ、8月19・20日の2日間は国立循環器病研究センターで現地開催されました。セミナーは、循環器予防の第一線でご活躍されている先生方の貴重な講義のほか、参加者が5つのグループに分かれ「社会に役立つ循環器病予防の研究力を身につける」という主テーマに沿ってグループワークを行い、研究計画を立案しました。

私は、看護師として日々の臨床現場で感じていた疑問を看護の視点から科学的根拠に基づいて評価するプロセスを学びたいと思い、滋賀医科大学の修士課程で現在研究に取り組んでいます。研究に取り組むにあたり、より詳しく研究手法を学ぶために、今回の循環器病予防セミナーに参加させていただきました。

セミナーの事前課題では、循環器病予防に対する実際の取り組みや疫学研究の方法について学ぶことができました。先生方の講義はとてわかりやすく、グループワークで悩み立ち止まった時に講義資料を読み返すことで、思考の整理をすることができました。

私たちのグループは、学会から提示された「循環器疾患のリスク因子の探索に関する研究」というテーマをもとに「夫婦関係満足度は食生活を介して循環器疾患リスクと関連するか」について研究計画立案に取り組みました。グループ編成は、医師・管理栄養士・看護師などの多職種メンバーで構成されていました。グループワークでは、職種の垣根を超えて循環器予防研究に対する意見交換や研究を進める過程を学ぶことができました。このことは、循環器病予防セミナーだからこそ経験できたとても貴重な機会であったと感じています。

私たちのグループは、初回の研修会後から Google Meet を利用したミーティングを重ね研究課題に取り組みました。その為、オンライン後の現地開催では、すぐに打ち解けることができ懇親会でも談義に花が咲き、とても楽しい時間を過ごすことができました。

私たちの研究課題は、来年度の循環器病予防学会学術集会で発表することを目標にしています。難易度の高い研究課題ではありますが、ブラッシュアップすることで、より良い研究にしていきたいと考えています。

最後に、本セミナーの実行委員長である宮本恵宏先生、オンラインのミーティングに連日遅い時間までご指導して下さった櫻井勝先生、小暮真奈先生、的確なアドバイスをしてくださった講師・チューターの先生方、スムーズなセミナー運営をして下さった事務局の土屋様、様々な学びを共有できた受講生の皆様に心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。